

※保護者のご承諾をいただいた赤ちゃんを、
撮影・掲載しています。

あくあく育て

乳 幼 児 健 診

(千寿苑＝平成22年3月19日)



「やまとファン倶楽部」結成！

山都町を応援しよう！～



会長には甲斐和郎さんが選出されました。

～福岡から応援します！～

来年春に迫った九州新幹線の全線開通。さらに九州横断自動車道延岡線の開通も近づいています。そんなとき、福岡に頼もしい山都町の味方が誕生。その名は「やまとファン倶楽部」。福岡都市圏からの誘客や山都町の活性化のために一役買っただけでなく、仕事などで縁のある方、山都町が好きの方など多種多彩。今後は福岡地域への観光PRや、福岡の方々との交流人口拡大などのための活動をサポートしていただきます。

参加した会員の方々は主に福岡地域に在住で、町出身者だけでなく、仕事などで縁のある方、山都町が好きの方など多種多彩。今後は福岡地域への観光PRや、福岡の方々との交流人口拡大などのための活動をサポートしていただきます。

“やまとファン倶楽部”会員募集中！

福岡を中心とした地域で、山都町の活性化のため一緒に活動していただく会員を随時募集中です。福岡周辺にお住まいのご家族やご友人等がいらっしゃいましたら、その方の情報をお知らせいただければ幸いです。※戴いた情報は、やまとファン倶楽部に関連した情報や山都町の観光・物産等の情報提供をお送りする際に使用し、それ以外への使用はいたしません。

*申し込み及び問い合わせについては、やまとファン倶楽部事務局(山都町役場商工観光課内)72-1158まで。



町の特産品が当たるビンゴゲームもありました。

「陸の孤島」といわれるほど交通の便が悪かった菅地域に鮎の瀬大橋が架かって10年。それを記念した式典が3月21日に開かれました。菅のひよつとこ踊りで幕を開けた記念式典は、千滝・白糸・菅自治振興区の主催。式典では、新野幸枝さんと舩田朱美さんが開通によって生活が良くなったことへの感謝を述べられ、また、橋の工事を担当した三井住友建設の瓜生正樹さんは、地元行事や、消防団に入るほど地元に着着されていた思い出などを話されました。



記念碑



～鮎の瀬大橋10周年記念式典～

今後の発展に期待して植樹

世界の子どもの役にたとう

御岳小学校の子どもたちが、集めたペットボトルのキャップを、山都町商工会青年部に渡しました。この取り組みは「エコキャップ運動」といいます。ペットボトルのキャップを大事に資源として、リサイクルメーカーで再利用することでゴミを減らし、さらに、その売却代金がNPO法人「世界の子どもに」に送られ、世界の子どもたちにワクチンが届きます。キャップ800個で一人分のポリオワクチンになります。

山都町商工会青年部では、県商工会青年部の一員としてこの事業に取り組んでいます。御岳小学校で集めたキャップはなんと約9000個！代表して6年生10名が渡辺大祐青年部長へ手渡ししました。

混ぜればゴミとなるペットボトルキャップも、分ければ資源とワクチンになります。

みなさん協力ください。



渡辺部長にキャップを渡す御岳小学校の6年生